

救急
豆知識

窒息に対する異物除去法



窒息事故は高齢の方が大半を占めますが、乳幼児の事故も発生しています。大切なのは窒息事故を起こさないよう予防することです。もしもの時の為に応急手当の方法を知っておきましょう。

応急手当の方法

傷病者に「喉が詰まったの？」と尋ね、声が出せず、うなずくようであれば窒息と判断し、直ちに行動しなければなりません。

●119番通報するよう誰かに頼むとともに、ただちに以下の二つの方法を数回ずつ繰り返し、異物が取れるか、傷病者の反応がなくなるまで異物の除去を試みます。
(意識、呼吸がなくなったら直ちに心肺蘇生法を行ってください。)

●傷病者が咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせます。咳ができれば、それが異物の除去にもっとも効果的です。

☆腹部突き上げ法

- ①傷病者を後ろから抱えるように腕を回します。
- ②片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上で、みぞおちの十分下方に当てます。
- ③その手をもう一方の手で包むように握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。



腹部突き上げ法

☆背部叩打法

- ①背中をたたきやすいように傷病者の横に回ります。
- ②手の付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたきます。(乳児：顔を支え、頭部を低くし背中の中をたたく)。



背部叩打法



背部叩打法(乳児)

ポイント

- 妊婦や乳児に対しては、腹部突き上げ法は行ってはいけません。背部叩打法を行います。
- 腹部突き上げ法と背部叩打法どちらか一方を行っても効果のない場合、もう一方を試みます。
- 腹部突き上げ法を行った場合は、腹部の内臓を損傷している可能性があるため119番通報前に異物が取れた場合も、医師の診断を受けてください。

更に詳しい知識や手技の修得を目指したい方は富士五湖消防本部救命講習会を受講されてみてはいかがでしょうか。(詳細は富士五湖消防本部のホームページを御覧ください)

URL <http://www.mfi.or.jp/fg-kanrika/>